

前橋工業高等学校 学校評価一覧表②（令和元年度版）

（様式2）

表の見方 具体的数値項目 A:充分達成できた B:達成できた C:もう少しで達成できた D:達成できなかった

評価対象	評価項目	針	盤	達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
				①	②	★★			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	(1) 各教育活動に満足している生徒が70%以上である。	A	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が89.6%である。 ・分かり易い授業や第一志望の進路実現に向けて努力する。	・満足度91.4%は高い数字であり評価したい。残り8.6%の数十人については非常に難しいと思うが、より詳細なアンケート等により調査して見ていただけたらと考える。 ・夢と現実を近づけるのがインターンシップの一つの長所であり、より積極的な指導をお願いしたい。 ・教育活動として特に問題なく、資格・検定試験に対しても担当の教師による補習授業などを行い、有効活動を行っている。 ・行事、委員会活動に参加する事で教職員、他の生徒の和が広がり良い活動ができています。 ・短期インターンシップ参加者が昨年度よりも大幅に増加し、C評価と改善しているのは、学校の取組の成果が表れているものと思います。インターンシップにより実践的な経験を積む事は、進路を考える上でも大切な財産となるので、今後もさらに推進されることを期待します。 ・自分の学校が好きだと感じる生徒が大多数を占めるという結果は、教育活動や学校運営が適切に行われていることの表れだと思います。 ・職業人として挨拶・礼儀をしっかり身につけることは必須であり、取組を継続してください。	・進路の第一志望実現に向けて、1年生より自分の将来にむけたキャリア教育を推進し、学習意欲の向上や授業に対する取組を改善したい。	
			C	D	D	・長期、短期インターンシップ参加者は在校生で延べ345名、41.7%である。 ・吹奏楽部が前橋高等養護学校や前橋市立養護学校と交流した。			・機械科の2年生全員80名、建築・土木科も引き続き全員のインターンシップに参加できた。 ・在校生全体では、延べ345名の生徒が何らかの形で体験することができた。
			A	A	A	・各科研究部を中心に各種大会の参加や各資格の取得に取り組んでいる。大会実績は、建築科の若年者ものづくり競技全国大会木材加工(12年連続出場)、高校生ものづくりコンテスト全国大会木材加工部門(3年連続出場)や電子科のマイコンカー全国大会(10年連続出場)をはじめ各科好成績を収めている。			・各科研究部を中心に各大会の参加や各資格の取得に継続して取り組むとともに、工業の知識と技能を高め、各種大会等で好成績を目標に一層の努力が望まれる。
			B	A	A	・生徒の満足、ほぼ満足の合計が84.2%である。 ・生徒と職員が魅力ある学校作りに向けて努力する。			・授業確保をしながら、行事を精選し、生徒が主体的に活動できる学校行事や生徒会行事を行い生徒が満足感を持てるような教育活動を実施する。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	(6) 生徒の実態を踏まえ、到達度に応じた学習指導を実施し、学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が70%以上である。	A	A	A	・生徒が学校の学習指導に満足、ほぼ満足している合計が80.9%である。 ・ステップアップサポート事業により教員がお互いの授業を参観し合い授業改善に取り組んでいる。	・授業等は教員のステップアップサポートやアクティブラーニングなどを取り入れ、生徒が学びやすく多様な学習形態を取り入れ授業を行っている。 ・欠点は保有者の対応も早期に把握することにより、欠点を解消させる。 ・学習指導の満足度が生徒・保護者ともに高く、生徒の実態に合った授業の取組が評価されていると感じました。その一方で、全く満足できていないという回答も、生徒・保護者ともに2%弱いることから、理由を分析して、より満足度を高められるよう改善を進めてください。 ・到達度の低い生徒に対して課題学習会を行う等、個々の生徒毎に学力をしっかりと身につけさせる取組がなされていると感じました。 ・補習授業等丁寧な対応は大変ありがたいことであり、粘り強い継続を期待する。	・すべての職員がステップアップサポート事業により、学び合い、アクティブ・ラーニングなど多様な学習形態を提供し、魅力ある授業を展開できるよう取り組む。	
			A	B	B	・2学期の欠点保持者数が9.6%である。特定の科目で多数の欠点があることが多い。早期に欠点を解消させるよう、課題等を提出させる。			・評価基準、テストの平均点の到達目標が教員個人個人で差があるため、特定の教科で評価が高かったり低かったりすることがあり、統一した見解で評価をつけることに取り組みたい。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	(8) 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に1～2回程度行っている。	A	A	A	・教育相談係やスクールカウンセラー、臨床心理士と連携して、支援が必要な生徒に対応した。 ・学年会を月に4回実施し、情報交換した。	・学校・家庭で連携を取り情報共有できている。 ・アンケートでは学校でのいじめはないが個人的にアンケートや面接など行いいじめ防止に務める。 ・SNS等で軽い気持ちで投稿のちにその事が重大な事件などに繋がることを重視する。	・各係、スクールカウンセラー、臨床心理士と連携して支援体制を確立したい。	
			B	A	A	・不登校傾向の生徒がSC面談を重ねたことで、生活上の不安が取り除かれ登校意欲が高まったケースがあった。また、各担任が出欠状況等について家庭と連絡を密に取り、情報共有を図ることで円滑に対応できた。			・中高情報交換会において支援が必要な生徒の情報を共有し、「指導・支援計画書」を作成し、入学直後から対応する。また、不登校傾向が見受けられる場合は、家庭との連絡を密に取り、早期にSC面談や関係機関と連携を図り対応する。
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	(9) 家庭と連携をとりながら、生徒の怠慢による欠席・遅刻をなくし、1日平均遅刻者数は前年度の98%以下である。	A	A	A	・例年なかなか受診率が上がらないでいたが、今年度は、早期に専門医による治療や検査の必要な受診勧告が出た生徒に関しては、養護教諭からなるべく早く受診するよう個別に指導を行った。その結果、年間を通して90%以上の受診率となった。早期の受診率を上げるためには、保護者の理解も必要のため、保護者への協力依頼等にも力を入れていく必要がある。	・「早期に受診する必要がある生徒への呼びかけや個別面談を行うと同時に、家庭への協力依頼等」を検討していきたい。		
			A	A	A	・いじめ防止に向けた啓発を全校集会や関連資料の掲示・配付にて行った。 ・各学期毎に「学校生活アンケート」を実施した。また、各種アンケートに併せて「いじめの情報」を把握できる項目を追加する等、早期発見に努めた。 ・生徒からの情報を軽視せず、情報収集に務め、いじめの有無について丁寧に調査した。		・「いじめ防止基本方針」「いじめ防止対策推進法」について、詳細な資料を提示した上で周知を図り、いじめ防止に繋げたい。	
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に取り組んでいますか。	(11) 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に各学期1回以上は行っている。	(10) 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査の必要がある生徒の受診率は80%以上である。	A	A	A	・「全校集会時に「いじめ防止基本方針」およびいじめ防止について周知した。また、PTA総会において「いじめ防止対策推進法」によるいじめの定義や対応について詳細に説明をし、保護者に周知した。	・アンケート結果で、部活動の満足度が低下していることが気になりました。優秀な成績を残している部活動も多いので、原因を確認して改善が図られることを期待します。	・生徒の中では、SNS等への危機意識は低く、家庭において使用ルール等も無いと思われる。生徒がトラブルに巻き込まれたり被害(加害)に逢わないために家庭と連携をした取組を実施したい。
				A	A	A	・「ケータイ安全教室」を実施し、SNSトラブル回避やインターネットの危険性・正しい利用方法等について学ぶ機会を設定した。また、全校集会や学年行事等の機会にSNSに関わるトラブル事案について説明し、注意を促した。		
A				A	A	・新入生の加入率が横ばいの傾向にあるが、新入生歓迎会、部結成、壮行会等で各部活動の協力のもとで計画的に運営することができた。今年度は文化祭も実施できた為、イベント内容に部紹介も取り入れてもらいながら、対外に向けた情報発信をすることができた。	・引き続き、予算整備などの活動補助も丁寧に言いながら、本校の部活動を対外に発信できる環境をできる限り増やしたい。		
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	(15) 進路関係の行事やガイダンスを年5回以上実施する。	A	A	A	・地元の企業や上級学校と連携を図り、進路ガイダンスや進路講話等のすべての進路行事を実施できた。また、昨年度同様に本校職員による企業訪問(約80社訪問)を実施し、情報交換等ができた。特に、生徒や保護者にも進路情報として提供することができた。	・先輩と語る会など実際に就職や進学した方々の実体験や苦労した事、良かった事などを発表して頂き自分の進路に対しての意識向上に繋がって行くので良い機会と思う。 ・進路講話やガイダンス等の取組がとても充実していると思います。また、保護者への情報提供も様々な方法により行われており、それが高い満足度につながっていると思います。 ・進路実現のために、家庭の理解・協力を得ることはとても大切です。保護者面談やアンケート調査の機会等を利用して、生徒と保護者が話し合うきっかけづくりを行えるように思います。 ・パワーハラスメント等が大きく注目される社会を目の当たりにして、進路指導は困難を極めるが、よりよい進路指導の実現を目指していただきたい。	・生徒の能力や資質を伸ばせるよう全職員が共通理解を図り、計画的・系統的な進路指導を行っていく。	
			A	A	A	・キャリア教育及び進路に係わる情報共有やわかりやすい進路資料を提供できるように努めた。			・保護者や地域社会の要望を取り入れながら、キャリア教育及び進路指導の推進を図る。
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	(17) 進路について真剣に考え、その実現のために努力している生徒が70%以上である。	A	A	A	・将来を考えた学習活動を行い、主体的に進路を選択し、自己実現を図っていくことができる生徒が増えた。	・進路意識を高められる取組や基礎学力等の向上により、第一志望の進路実現100%を目指す。また、組織的な進路指導体制の充実にも努める。		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	(18) 学校の教育活動を人々に理解してもらうために学校公開を年3回実施している。	A	A	A	・7月22日から7月26日の間オープンスクールを実施した。(参加者・・・中学生12名保護者12名) ・8月6日学校説明会(中学生622名保護者350名参加)	・PTA総会や学校公開、進路説明会などを行かない学校での生徒の様子などを把握して頂けるのは大事だと思う。都合で参加できない保護者もいるので、PTAニュースや配布物で知らせる。 ・ものづくりに携わる人材を教育・育成している前橋工業高校の役割は非常に大きく、それを広く地域・県民に伝えていくことはとても大切だと思います。オープンスクールや学校公開の機会に、多くの人に参加してもらい、実際に見てもらえるよう工夫を重ねていってください。 ・地域・県民等に学校教育活動を知ってもらうために、学校公開やホームページで情報発信を継続していくことは重要であり、内容の充実を図っていきましょう。 ・令和元年の前工文化祭は、私が知る限りにおいては、最大数の見学者であったとお見受けした。このことは保護者が学校に対して高い関心を寄せたことの表れと思う。また、地域との協同がはかられたことの証でもある。このことを契機に、社会との連携を強化していただき、生徒一人一人を安心して社会に送り出せるような指導をより一層充実していただきたい。	・第1回はたくさんの中学生・保護者・中学校教員に参加していただいた。 ・第2回学校説明会は台風で中止となった。追加の説明会はあるのかという問い合わせが多かったため、今後検討したい。	
			A	A	A	・6月10日から6月21日の間、全校でクラス担任、生徒、保護者の3者面談を実施した。 ・修学旅行保護者会や進路説明会など学年行事の際にも面談を実施する。			・全校3者面談も定着している。今後も保護者との連携を深めたい。
			B	B	B	・PTA総会を土曜日に開催しているが、参加者は29%で目標数に達していない。 ・クラス通信やホームページ、メールの活用など学校の様子や保護者に分かるように情報を発信する。 ・PTA総会や保護者会、進路説明会等にほぼ参加、参加の保護者の合計が57.2%である。			・PTA総会等でも保護者が参加しやすくなるような行事の検討を行う。 ・予餞会の保護者参観は、昨年に引き続き安全上の理由から中止した。
			A	A	A	・前工通信(新聞)や学校案内を作成し、中学生だけでなく同窓会等の会合にて配布している。 ・ホームページの更新を月1回以上行っている。 ・電気科と土木科が中学校への出前授業を行った。			・前工メールを活用している。自然災害の配信のタイミングがむずかしいため、本年度は警報発令時の対応について策定し、HPなどで提示している。 ・ホームページの活用と積極的な更新を進める。